【休刊月曜・刊日】昭和25年(1950)11月25日（土曜日）第157号　磐城毎日新聞　可認物便郵種三第日6月7年25和昭　(一)

郷土色もたっぷり

濱通り藝能祭プロ決る

平放送分局、平文化クラブ主催、石城地方事務所、平市後援の「濱通り藝能祭」は廿六日午後二時、同六時からの二回に亘って市公會堂で開く、同日午後三時から一時間東北地方向け中繼放送される、歌謡曲を始め民謡等盛澤山で人氣を呼んでいる、曲目と出演は次の通り

△ジャンガラ念佛　平市中山連中、△箏曲　鷲野喜美野、△歌謡曲　羽田春光、早坂玲子、栗原利喜夫△輕音樂　常磐炭礦輕音樂團△日本囃子　大太鼓―根本幸一、小太鼓―關根政吉、〃長谷川、笛―長谷川恭雄△平小唄　唄―早坂玲子、三味線―鈴木トキ子、伴奏―常磐炭礦輕音樂團、踊―夢路小いろ、君松、花香、あつ子、蔦次△磐城めでた三森虎雄、白井カツ△さらら舞　獅子―柴田榮次郎、〃鈴木久康、〃藁谷正儀、笛―矢吹清一、鈴木藤直重、矢吹清一、鈴木喜一△長持唄　唄―志村忠一、〃坂本富太郎、おはやし―泉村藝能保存會△地形唄　唄―山本直次郎、永井いそ、おはやし―泉村藝能保存會△ハッツ倉、草野方面を視察して一節　菊地新藏、△平盆來市廿八日は炭礦並に共立病院を視察の上廿九日午前九時から平市一小講堂で郡下小中學校長會議を開き公民館運營、不良化防止、市内小中學校の兒童生徒の校外生活指導、和市の廢品回收、辨論大會濱三郡青少年指導者講習會、社會教育研究大會などについて協議した

―佐藤與全、唄―青木又七、小春△木遣り唄　山野邊昇、片寄孝平、齋藤三郎、岩本幾吉△抗打音頭　高山はな、佐々木きん、佐藤すて、橋本とよ、佐藤きん、鈴木やす、吉住ます、安藤きく△炭礦節　管野春子、踊―常磐炭礦女子職員、伴奏―常磐炭礦輕音樂團△歌謡曲　NHK荒井惠子―夜來香、東京夜曲、四ツ葉のクローバー、夜のプラットフォーム、NHKのど自慢全國第一位の思い出の曲……南の花嫁さん△歌謡曲　NHK―大西たま子　黒田節、十三夜△民謡　大西たま子―相馬節、相馬二へん返し、新炭礦節　炭礦節

就労ワク増大など

失業對策平部會開く

失業對策實施本部平支部對策部會は二十四日午後一時から市會議室に於て樋口縣職安課長、平職安同土木監督所、復興事務所、など事業の主体及び關係市町村長ら約二十名が出席して第四、四半期就ワク増大について

二十六年度失業對策事業實施について

など協議した

大竹縣知事 郡下を視察

大竹縣知事は郡下視察のため廿七日午前十一時ころ四時半頃同氏居宅側倉庫内よりバビットメタル、ハンダ、ヒューズ等二万五千円相當を盗まれた

×

市内禰宜町六八常磐炭礦平發電所酒井一(三一)さんは廿二日午後五時から廿三日午前七時の間に同所脫衣場内から續作業衣、作業衣、シャツ、バンド等二千三百円相當を盗まれた

電線泥に体刑

群馬縣勢多郡敷島村大字長井小川田塚源七方土工太島登(三一)は廿四日地裁平支部より窃盗罪で懲役八ケ月の判決を言渡された、同人は去る九月廿二日午後九時頃石城郡磐崎村大字長倉七二空地に野積してあった四國機械株式會社常磐出張所長土尾岩夫氏の管理、ケーブル線約十米價格一万五千圓相當を窃取したもの

果物店から鶏卵盗む

市内大町二五青果物商羽石德太郎(五四)さん方では廿三日午後七時から九時迄の間に店舗内から金網籠一ケ、鶏卵五十ケ、その他七百円相當を盗まれた

×

市内一五丁目六古物商笠野和市(四九)さん方では廿三日午後八時半頃同氏居宅側倉庫内よりバビットメタル、ハンダ、ヒューズ等二万五千円相當を盗まれた

×

市内禰宜町六八常磐炭礦平發電所酒井一(三一)さんは廿二日午後五時から廿三日午前七時の間に同所脫衣場内から續作業衣、作業衣、シャツ、バンド等二千三百円相當を盗まれた

郡下校長會議

教委石城出張所では廿四日午前九時から平市一小講堂で郡下小中學校長會議を開き公民館運營、不良化防止、市内小中學校の兒童生徒の校外生活指導、和市の廢品回收、辨論大會濱三郡青少年指導者講習會、社會教育研究大會などについて協議した

詐欺容疑 赤井村西小

川木材伐採業西山幸助(二八)は昨年六月ころ小川郷―平市内發電所間の定期乘車券三百六十圓を同驛出札係草野軍平さんに後で拂うから立替てお前七時の間に同所脫衣場内から續作業衣、作業衣、シャツ、バンド等二千三百円相當を盗まれた

×

市内禰宜町六八常磐炭礦平發電所酒井一(三一)さんは廿二日午後五時から廿三日午前七時の間に同所脫衣場内から續作業衣、作業衣、シャツ、バンド等二千三百円相當を盗まれた

電線泥に体刑

群馬縣勢多郡敷島村大字長井小川田塚源七方土工太島登(三一)は廿四日地裁平支部より窃盗罪で懲役八ケ月の判決を言渡された、同人は去る九月廿二日午後九時頃石城郡磐崎村大字長倉七二空地に野積してあった四國機械株式會社常磐出張所長土尾岩夫氏の管理、ケーブル線約十米價格一万五千圓相當を窃取したもの

勤労感謝の日 自由労組清宴

小名濱町自由労働組合員は廿三日午前十一時から作業場の同町第二中學校敷地工事場に於て吾等の勤労感謝の日を祝そうと感謝祭を催した、組合員及び家族で運動會を開き後宴を張りなごやかに一日を樂しみ散會した

家具を偏取

下小川村字上平木材業鯨岡作助(三一)は七日平市五丁目家具店片寄小彌太方から三重タンス一揃、リヤカー一台一万三千円相當を詐取した疑いで二十四日平地區署に檢擧された

平市刀圭界の長老

松村さん惜まれて永眠

平市醫師界の長老松村鐵郎氏は肺水腫のため療養中の處廿三日午前十二時永眠した、行年七十才

葬儀は廿五日午後二時自宅から出棺、良善寺に於て告別式を行う、松村家は安藤藩五代に亘る藩醫高知さんの長男として生れ六代目として明治十六年十一月生れ磐中第三期卒、仙台醫學專門學校を經て東京市南胃腸病院に研究後開業、四十五年間平市刀圭界に活躍、當時既に專門醫として治療に盡粹し胃腸、性病に特技を發揮、信望を集め縣醫會役員として重きをなされていた、軍醫として抑留中だった嗣子亨博士も昨年歸還してから溫厚円滿な氏は水石、小鳥を愛しながら戰災の病院復興に着手、工事半ばに永眠されたことは各方面から惜しまれている

松村鐵郎儀豫て病氣の處藥石効なく本日正午死去致しましたので生前の御厚誼を謝し旁々御通知申上げます

尚葬儀は本月廿五日午後二時自宅に於て告別式をいたし市内良善寺の先塋に埋葬致します

昭和廿五年十一月廿三日

平市南町
嗣子　松村亨
親戚總代　篠山康
友人總代　高杉清一
内木宗八

第二小生印刷工場見學

平第二小六年生（擔任佐藤フミ子さん）は廿三日社會科研究のため市内仲町大和田印刷所を訪れ工場を一巡印刷物の出來上るまでの工程を見學、折柄活字鑄造中のいまだかつて見たことのない生産過程や同工場設備になる寫眞版の製造法の說明を聞いた（寫眞は見學生同印刷所前で撮す）

安定所增築

平職安の增築廳舍は廿二日から敬して遠ざける事を止めて二度と生れてくる人生ではないのである、幾つになろうと氣持だけは何時も三十台のつもりでお白粉も口紅もつけて元氣溌らつと生活を樂しんだ方がどんなに生甲斐があるかしれやしない、敬老思想がいけない、と云うと大地味になりお白粉氣もなく部變つた意見のようにとれそうである、男でも五十をすぎるとわしはもう歳だから底では若い者のようにお白粉もつけて綺麗にしたい氣持がうづうづしているのに事だろう

七十のお爺さんが眞赤なネクタイをして、六十のお婆さんが流行の洋服地かなんかを身につけたら、そうした能を押しつぶしてしまうか、七十才になってジャンバーかなんかを輕快に着て馬鈴薯夫人と腕を組んで新聞記者に寫されるあの若さがアメリカに於けるデモクラシーの繁榮をもたらしたもので

あるという事を日本人に敎えているのである

吾々も殊更に若くならうと云うのではない只若さを失わず樂しむような變態心理にお陷んでしまうのである、むしろも老人特に日本人だけのようである、外人はどんなに若い嫁が一寸でも派手にしようものならわたしの若い頃は內心若さえの妬ましさもあったろう、服そうなんか相對手傳つてねちと嫁いびりをするのは特に老人の特別席におさまってしまって、わざと老人じみた動作をしているから早く老けてしまうのである、女は四十位から敬老思想を止めたまえ、老になるともうおばあちゃん人だからと特別扱いにするですわと云う、着るものもは

昭和25年(1950) 11月24日 (金曜日) 第157号 磐城毎日新聞 定價1ヶ月50円 一部賣二円 第三種郵便物認可 (二)

盛りもたくさん 磐城産業文化祭の行事

平市石城地方町村會共催の第二回磐城産業文化祭は、十二月一日から三日間市内五會場で行われるが第二日目は山車による平藝者連の手踊り、三日目は親子獅子舞(平窪、北白土、中山組)、花電車、など盛り澤山な催しである

各會場は次の通り

△農村水産館(平公會堂)商工館(同日本間)文化館(地方事務所と市役所二階)映畫館(農業會館)、デコ市(平大通り)

川部二四二一、田人二七七七、夏井一二八〇、高久一三二六、豊間一八二六、江名五五四七、鹿島八三五、小名濱一二四〇、四倉五三七一、大野一七九五、小川一七九〇川前一四五八六

競輪襲たった百名 採用條件緩和で再募集

平競輪場の女子従業員の募集は既報の如く二十日から三日間公會堂本館に於て檢定を行ったがワンサと押しかけるものと豫想した處豫想に反し一日目は六十三名二日目は二十名、三日は正午までに僅に六名の應募者があつたに過ぎず採用豫定人員約四百名も不足している、この現象は一般に非常に難かしい試驗でもあるかのように誤解されたものと見られ市當局では次の如く採用條件を緩和して募集する事となつた

一、年齢十八才以上四十才までの女子

一、市内居住者に限らず通勤可能な者で學歴を問わない

一、給與は一日百円以上三百円まで

一、一般事務、車券賣場及び拂戻場に勤務

一、希望者は三十日までに市役所二階競輪室に履歴書持參の事

道路復興寶くじ 町村割當

縣道路復興寶くじの石城地合保証人は當の五十嵐さん子商蓮田新次郎(三六)と共謀同村北好間菓子商古鍛治町キャンデー行商人に貴賤の差別はない、不遇な人をいたわる眞意からの家庭生活に惠れぬ二人が新しい家庭を營むことは大賛成と千葉課長もおゝ乘り氣で廿三日の勤勞感謝の日をトして結婚式を擧げた

教務主任一行 東京方面視察

石城郡第三區教務主任十八名は來る卅日から三日まで平市長の挨拶、平庭球クラブからクラブに盡力した大内秀次郎鈴木武雄の二氏を表彰、來賓の祝辞があつて祝宴に入り散會した

賃金交渉に日 鑛委員會開く

日鑛常連地方委員會は廿二日午後一時から平市勞働會館で賃金のベースアップを目的とした給與專門委員で選任し來月十日ころから連盟と統一賃金交渉を行う外易なものではない、然して電燈料金は當り前に徴收す

停電理由公表せよ

去る十八日午前六時るもの五十分間停電した之を新聞等に公表すべきである、然るに何等の手續を採らず公然として居るは甚だ横暴である、此の事を磐城グループ毎日を通じて公表して貰うよう要求して下さい

(市民の一人より)

停電事故について 回答

十八日十八時十五分つて復より約四十八分程事故に依り停電いたしました關係上、需用家の皆樣に大變御迷惑をおかけいたし誠に申譯なく存じております

一、原因は小川幹線二号柱の碍子破損のためでありまして、調査の結果自然劣化と思考された譯であります

二、當社に於きましては、斯の種事故の未然防止に最善の方法を講じ保守巡回に努力いたし居る次第で御座いますが、原因の如何を問わず充分責任を感じて居ります、前記事故の發生に際しましても、全力を擧げて午後四時から市營コートに於て文部大臣より休育優良團体として表彰されたその被露式と納會を兼ねて紅白試合を行つた、志郵守義會長の戰績發表阿部助役の來賓祝辞文部大臣表彰狀被露があり試合に入つた郡下から百余名の選手が參集して熱戰を展開、午後三時終了し午後四時から市公會堂日本間で表彰被露祝宴に入つた會長の挨拶文部大臣表彰狀卓球大會を廿六日午前九時から高橋卓球場で行う區内平地區署では二十三日好間なことで川原に呼び出し全五年度全日本硬式卓球選手權縣予選兼縣選手權大會を開催する

また暴行男檢擧

去る十一日臨月の身を流浪して平驛に下車待合室で陣痛平署の婦警さんがたに保護され實川醫院に入院男子を生んだ新潟縣生れ住所不定山田よし(三四)さんは一足お先き陽春が訪れている、それは同醫院に同じく入院療中の娘を看護している五十嵐留次さんが不遇なよしさんの身の上談に同情して何くれと世話をしてゐたが縁となり、自分の甥に當る鮮魚商五十嵐吉治(四二)が四平前妻と死別子供もなく一人身だから結婚してはと申込んだことに始る、話はトン拍子と進んで十八日は見安(二四)と共謀同村北好間菓子商蓮田新次郎(三六)をさ細狩猪昭夫(二〇)=いずれも丸

磐通一勝一分で優勝

東南クラブ、大陽、磐城通運の三チーム野球リーグ戰は廿三日午前九時から市營球場で行つた、磐城通運は一勝一分の戰績で優勝カップを獲得した

通運2—2大陽
大陽2—2東南
通運2—0東南

流浪から結婚へ

千葉社會課長 月下老人の役で

津田の余罪

去る九月平市才槌小路キャンデー外務員須藤昭二(三三)之が復讐作業に當つたので本年度の樟尾を飾る平市東西對抗軟式野球大會は來る廿六日午前九時から市營グランドで行う、試合順位は次の通り、第一試合九時から少年組、第二試合十時半から壯年組、第三試合十二時半から青年組

硬式卓球 磐城スポーツ連盟

では廿五日午前九時から市公會堂本館において廿五年度全日本硬式卓球選手權縣予選兼縣選手權大會を開催する

親善卓球大會

市内廿八區青年會では親善卓球大會を廿六日午前九時から高橋卓球場で行う區内在住の一般高校中學男女の申込を希望試合は東西對抗チーム戰を始め一般高校中學校のトーナメント戰

泥酔トラック 住宅え飛込む

二十三日朝四時ころ石城郡小川村字小川木炭商田久孝翁(二九)は酒を飲み自家用トラックを運轉し平市内一丁目でハンドルを切り損ね、同町飯田近治(六七)さん方に突入表戸ガラスを大破した

會と催し

廿六日午前八時から午後四時まで平二中では文化祭を開催、一般父兄に公開する各種製作組合の展示、バザー、そ菜品評會、同即賣會演劇發表等がある

×

廿六日午後二時から市役所會議室で平醫師會第一回臨時總會を開く

投書

去る十八日午前六時より七時廿分まで約五十分間停電した之が爲市民の蒙りたる損害は少なくないそれのみならず吾々に横暴不便苦痛を與えたる事は容毎日を通じて公表して貰うよう要求して下さい

(市民の一人より)

映畫評 「宗方姉妹」

元來映畫批評家は作者からも興行者からも喜ばれない存在である、どんな作品にしろ監督も俳優もそれ相應に努力し研究してつくり出されて來るのであるそれを無斬にも分折し批判するは相應の理由がある筈であり製作者にとつては或は腹立たしい行爲であろう、ましてや映畫の問題が一ばん大きい要素であることは爭えない事實である

良い作品でも觀客が見てくれなければ興行的には成功しない、良い作品に觀客の存在が最近特にいちぢるしいと云われている、當地方の觀客層は低いと云われているのであるそれを特に當るべくして當るそこで受けるのはギャング物や意味ではない

ング物や活劇物に劣らなかつた筈である

觀客は向上しつつある映畫批評の存在は決して無駄にはならない、良い作品は觀客の映畫に對する批評の進歩が最近特にいちぢるしいと思う、「赤い靴」「情婦マノン」等の入りは決してギャ